

中野小学校の ESD 活動

<活動の概要>

当校は、「なかよく かしこく のびゆく子」を学校理念として、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育に取り組んでいる。ESDの実践を通して自他と対話し、学んだことを自らの学習に生かしたり、家庭や地域とつながったりする力の育成を目標としている。具体的には、①福祉に関わる活動、②食育に関わる活動、③キャリアに関わる学習を中心に実施している。

・活動の実際

① 福祉

中野小学区にある聾学校と学年ごとに交流活動を実施している。互いに楽しめるよう、相手の立場にたった交流内容や場のもち方を考え、聾学校児童への理解と友情を深めている。「みんなが笑顔になること」「互いの違いやよさを認め合いながら共生すること」が大切であると気づき、積極的にかかわろうとする姿が多くみられるようになった。

また、5年生は、「もっとやさしく 共に生きよう めざせ！心のバリアフリー」をテーマに、ESD活動を実施している。車いす体験などを行うことで、さまざまな人の思いに迫り、理解を深め、自分たちにもできる『福祉』に向き合っている。自分なりの福祉を見出すことで、「社会の一員」として自覚の芽生えを促している。



車いす体験学習



② 食育

中野小学校の給食は、東側に隣接する南部給食センターから届けていただいている。子どもたちにとって身近な存在となっている給食センターと交流を重ねながら、食べ物への関心を高め、生涯にわたり健康で豊かな心と体を育むための望ましい食生活についての学習を各教科や領域と系統的につなげ、「食」に関する学習活動を展開している。栄養教諭の指導のもと、給食の食材や栄養面、SDGs と関連させ、「残食」にも向き合いながら「食育」を展開している。

ちくわや梨などの地場産物を教材に、生産者さんから直接お話を聞く活動や、毎月発行している「食育だより」を通じた、家庭や地域との連携も、年々深まりつつある。



梨の枝剪定体験



ちくわを焼く体験

③ キャリア

「夢・つながるプロジェクト～大好き中野」をテーマにキャリアについて学習をしている。職業について調べたり、自分の将来を思い描いたりする活動を通して自分の生き方について考える学習を展開した。夢や希望を育み、目標の達成を旨として工夫して努力することの大切さを実感できるようにした。

4年生は「働く人に話を聞く会」として、さまざまな職業についている保護者や地域の方、企業の方を講師として招き、職業ごとに仕事内容を説明してもらったり、実際に体験活動をしたりして、仕事に関する理解を深めることができた。



職業の体験活動(美容師体験)